

令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：23024

学校名：栄町小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果		分析
体力・運動能力 ＜男子＞	○札幌市の平均より上回った種目 反復横跳び 本校：40.67 札幌市：40.52	○札幌市の平均より下回った種目 20mシャトルラン 本校：27.79 札幌市：43.89 立ち幅跳び 本校：139.67 札幌市：152.17 ソフトボール投げ 本校：15.25 札幌市：21.25	全8種目のうち、7種目が札幌市の平均を下回り、特に持久力と投力に大きな差が出た。全身持久力の強化と投擲フォームの改善に課題があるので、教育活動を通じて運動機会を更に確保していく必要がある。
体力・運動能力 ＜女子＞	○札幌市の平均より上回った種目 上体起こし 本校：18.54 札幌市：16.70 ソフトボール投げ 本校：14.46 札幌市：12.87	○札幌市の平均より下回った種目 20mシャトルラン 本校：23.85 札幌市：31.75	シャトルラン以外の種目では、札幌市の平均を大きく下回るものはなかった。男子と同様に、持久力に課題があるので、継続した運動を取り入れていく必要がある。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	○肯定的な回答が90パーセントを越えたもの ・運動やスポーツをすることが好き ・体育の授業が楽しい	○平日にテレビやスマホなどを5時間以上見ている。男子23.8% 女子24.0%	運動することに対して肯定的な児童は多いが1週間の平均運動実施時間は、札幌市や全国の平均より下回っている。自ら進んで運動する意識をもてるようにする必要がある。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自ら健康の保持増進を図る取組
-------	-----------------	-----------------------	---------------------

具体的な取組	・アスリートによる授業 アスリートとの直接的な触れ合いを通して、「わかる」を体感し、運動の楽しみ方やできる喜びを味わい、日常生活に生かせる運動習慣を育む。 ・助産師による講師派遣事業 助産師を招き、講演を聞くことを通して、性に対する正しい知識をもって適切に行動する力を育む。	・年間を通した運動週間 「外遊び DAYS（春・冬）」 「なわとび週間（6・1月）」 「マット週間」「とびばこ週間」 授業での取組を普段の運動に生かすために、意図的に期間を設け、知識・技能や体力の向上を図る。 ・「スマイル遊び」 異学年グループの活動の中で、高学年の児童が他学年の思いを引き出し、自分たちで体を動かす機会を創造する。	・栄養教諭による食育 元町小の栄養教諭と連携し、食に関わる校内放送や、各学年の実態に合わせた食指導を行う。 ・健やか学活 養護教諭が各学年の実態に応じた保健指導を行い、自身の健康について見つめ直す機会をつくる。 ・外部講師の活用 カルビー等の企業による出前授業により、食や健康について興味をもち、体験的に学ぶ機会を設ける。
--------	--	---	---

家庭・地域との連携・協働	・上記の取組の意図や結果、継続的な取組の見通しなどを学校から発行するお便りに明記し、家庭でも取り組んでもらえるように啓発する。 ・家庭での過ごし方についてのアンケートを行って実態を把握し、具体的な方法を提示しながら、家庭との連携を図る。
--------------	---